

第24期 第2回 薬学委員会 生物系薬学分科会 議事録

日 時:平成30年6月29日(金)15:00~17:00

場 所:日本学術会議6階 6-C 会議室(1)

出席者:分科会委員13名(別紙名簿)のうち10名:遠藤玉夫、新井洋由、井上純一郎、笠原忠、北林一生、土井健史(委員長)、長野哲雄、深見希代子、三浦正幸、山崎真巳

(1) 前回議事録案の承認について…………… (承認)

(2) 今年度開催のシンポジウムについて

・2019年1月18日(金)に、生物系薬学分科会主催のシンポジウム案が、三浦連携会員より示された(資料1)。主催を日本学術会議薬学委員会生物系薬学分科会とし、化学・物理系薬学分科会、日本薬学会を共主催、日本生命科学アカデミーを後援とする。7名の演者は原案通り、了承された。開会挨拶を奥直人薬学会頭に依頼すること、閉会の挨拶に共主催をお願いする化学・物理系薬学分科会に依頼することとした。

・薬学委員会 化学・物理系薬学分科会開催のシンポジウム(平成30年11月21日開催予定)のプログラムができている(資料2)が、生物系薬学分科会も共主催とし、閉会挨拶を要請されている。閉会挨拶には都合により土井連携会員から、遠藤第二部会員に変更とする。

(3) 今後のシンポジウムについて

・平成20年度から主催してきた薬学委員会 生物系薬学分科会シンポジウムのポスターを添付した(資料3)。

・平成31年度(32年1月開催予定)のテーマについて、議論した。ビッグデータ、遺伝統計学、ゲノム創薬、ゲノム編集、オリンピックとDoping、脂質代謝などのテーマが議論された。新井連携会員を世話人として、ゲノム創薬・遺伝統計学・バイオインフォマティクスについて実施可能かどうかを決めることとした(継続審議)。

(4) その他

・昨年1月に実施したシンポジウム「ITと創薬の融合」(世話人 土井連携会員)の概要がすでに、学術の動向2017年7月号が掲載されたが、日

本学術協力財団から『学術会議叢書』として成書にしたいとの意向が示された。この件については、笠原連携会員が対応することとした。

- 日本学術会議と日本学術協力財団の関係について、長野連携会員から補足説明があった。
- 大型研究計画に関するマスタープランについて、遠藤第二部会員、長野連携会員より説明があった。

(以上)